

このまちの100年

「静岡」

安土桃山時代、駿府城が徳川家康により築城され、江戸期には城下町、東海道の府中宿として発展。明治期に入ると静岡へ改名、静岡県が置かれるとその県庁所在地となり、現在に至るまで行政の中心地となっています。



大正15年頃

昭和12年に現在の本館が完成する間に使われていた静岡県庁舎



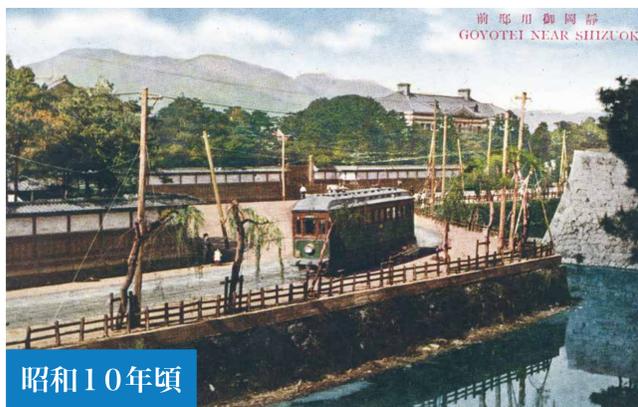
昭和10年頃

静岡駅前を西から望む。正面に昭和7年に開店した松坂屋静岡店が見える



昭和10年頃

昭和初期の静岡市の空撮。中央の校庭のある建物が静岡県立静岡中学校(現在の静岡県立静岡高等学校)、右上の大きな建物が並ぶ部分が駿府城址



昭和10年頃

静岡御用邸前を走る路面電車。御用邸は昭和20年の静岡大空襲で焼失した



昭和30年頃

戦前の静岡大火、静岡大空襲から復興した静岡駅前の夜景



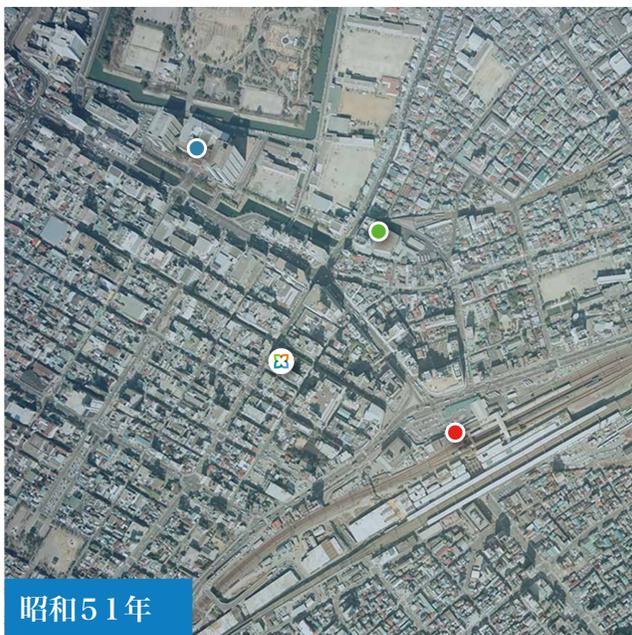
昭和40年頃

静岡駅前、御幸通りの様子。右が松坂屋静岡店

上空からみた静岡エリア



昭和14年



昭和51年



令和2年

 : 静岡県庁
  : 鷹匠町駅/新静岡駅
  : 静岡駅
  : 現在地

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロモチ